第8版　2025年4月25日

HA8000Vシリーズ
Windows Server 2022を購入する前に

ここでは、HA8000VシリーズでWindows Server 2022を購入される場合の注意事項や、制限事項について記載します。
Windows Server 2022を購入される前に、必ずお読みください。

1 プレインストールモデルにおけるOSパーティションサイズの制限について

Windows プレインストールモデルにおいて設定可能なOSパーティションサイズは、最大16TiBまでです。

2 Windows Server 2022におけるSecured core機能について

Windows Server 2022 におけるSecured core 機能サポートに伴い、以下モデルでは、Secured core機能を使用することが可能です。

・DL360 Gen10 Plus (*1)
・DL380 Gen10 Plus (*1)
・DL20 Gen10 Plus (*1)
・ML30 Gen10 Plus (*1)
・DL360 Gen11 (*2)
・DL380 Gen11 (*2)
・DL320 Gen11 (*2)
・DL560 Gen11 (*2)
・ML350 Gen11 (*2)
・DL20 Gen11 (*2)
・ML30 Gen11 (*2)

Secured core 機能を有効にする場合は、BIOSの「Microsoft(R) Secured-coreサポート」設定の有効化を実施ください。
詳細は「UEFI システムユーティリティユー ザーガイド」を参照願います。

(*1) Windows Server 2022プレインストールモデルにおいては、出荷時にSecured core有効の設定がされています。
(*2) Windows Server 2022プレインストールモデルかつ、以下の装置は出荷時に有効の設定がされています。
　・2025/4以前に出荷された装置
　・2025/5以降に出荷された翌日保守契約の装置

3 Windows Server 2022のインストールについて

Windows Server 2022をインストールする場合、TPMモジュールオプションを取り付け、有効化する必要があります。
TPM モジュールオプションの取り付けなどについては、各システム装置のユーザーガイドをご参照ください。

4 Windows Server 2022 のダウングレード権について

Windows Server 2022からのダウングレード権を使用しての新規インストールは、マイクロソフト社がダウングレード先の旧バージョンをサポートしている期間に限ります。
サポート期間についてはマイクロソフト社サイトをご確認ください。
aka.ms/windowslifecycle

次ページに続く

Copyright © 2024 Hitachi, Ltd. All rights reserved

5 Windows Server 2022 Hyper-V環境でサポートするゲストOSについて

HA8000VリーズのWindows Server 2022 Hyper-V環境でサポートするゲストOSについては以下のとおりです。

Windows Server 2008 Standard 32bit 版(SP2)(*1)
Windows Server 2008 Enterprise 32bit 版(SP2)(*1)
Windows Server 2008 Datacenter 32bit 版(SP2)(*1)
Windows Server 2008 Standard 64bit 版(SP2)(*1)
Windows Server 2008 Enterprise 64bit 版(SP2)(*1)
Windows Server 2008 Datacenter 64bit 版(SP2)(*1)
Windows Server 2008 R2 Standard(SP1)(*1)
Windows Server 2008 R2 Enterprise(SP1)(*1)
Windows Server 2008 R2 Datacenter(SP1)(*1)
Windows Server 2012 Standard(*1)
Windows Server 2012 Datacenter(*1)
Windows Server 2012 R2 Standard(*1)
Windows Server 2012 R2 Datacenter(*1)
Windows Server 2016 Standard
Windows Server 2016 Datacenter
Windows Server 2019 Standard
Windows Server 2019 Datacenter
Windows Server 2022 Standard
Windows Server 2022 Datacenter
Windows 7 Ultimate 32bit 版(SP1)(*1)
Windows 7 Profesional 64bit 版(SP1)(*1)
Windows 7 Enterprise 64bit 版(SP1)(*1)
Windows 7 Ultimate 64bit 版(SP1)(*1)
Windows 8.1 Enterprise 32bit 版
Windows 8.1 Pro 32bit 版
Windows 8.1 Enterprise 64bit 版
Windows 8.1 Pro 64bit 版
Windows 10 Enterprise 32bit 版
Windows 10 Pro 32bit 版
Windows 10 Enterprise 64bit 版
Windows 10 Pro 64bit 版
Windows 11 Enterprise 64bit 版
Windows 11 Pro 64bit 版
RedHat Enterprise Linux 8(*2)
RedHat Enterprise Linux 9(*2)

上記以外のゲストOSは未サポートとなります。
Windows ゲストOSのサポート期間は、マイクロソフト社のサポートライフサイクルに従います。
マイクロソフト社のサポートライフサイクルは以下URLを参照してください。
http://support.microsoft.com/?pr=lifecycle&ln=ja

RedHat Enterprise Linux ゲストOSの詳細サポートバージョンは以下URLを参照ください。
・RedHat Enterprise Linux 8
http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/linux/product/confirm/files/rhel8_spec.pdf
・RedHat Enterprise Linux 9
http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/linux/product/confirm/files/rhel9_spec.pdf

(*1) サポート終了に伴い、Windows Server 2022からのダウングレード権を使用しての新規インストール対象外となります
(*2) ゲストOSがRedHat Enterprise Linuxの場合仮想ファイバチャネルは未サポートです。

尚、以下モデルにおいて、Hyper-Vは非サポートです。

・DL380a Gen11

次ページに続く

Copyright © 2024 Hitachi, Ltd. All rights reserved

6 Windows Server 2022 Hyper-V環境でのNICチーミングについて

・Hyper-V 環境において、LBFO(Load Balancing and Faileover)機能でチーミングしたNICを仮想スイッチに割り当てることはできません。
・チーミングする場合、SET(Switch Embedded Teaming)を利用可能ですが、構成するアダプタについて以下の制限があります。
　・NIC 同士の速度を同一とすること
　・同一のNIC 同士(同じベンダ・コントローラー)でチーミングを行うこと。

※ホストOSでは、LBFO機能のチーミングで、LANコントローラのベンダが異ってもチーミングが可能です。

7 バックアップソフトについて

HA8000VリーズのWindows Server 2022環境でのバックアップソフトの状況については以下のとおりです。

・ARCserve Backup　　：Arcserve Backup 19.0で対応しています。
　　（Arcserve Backup 19.0は、2022年8月末リリース予定です）

・Arcserve UDP　　：Arcserve UDP 8.1（UDP 8.0の08-01）で対応済みです。
　　（Arcserve UDPの修正モジュール（P00002498）の適用が必要です）
　　https://support.arcserve.com/s/article/P00002498?language=ja

8 UPS管理ソフトについて

HA8000VリーズのWindows Server 2022環境でのUPS管理ソフトの状況については以下のとおりです。

・UPS管理ソフト PowerChute Business Editionについては、Ver.10.0以降よりサポートを開始しました。
・UPS管理ソフト PowerChute Network Shutdownについては、Ver.4.3以降よりサポートを開始しました。

Copyright © 2024 Hitachi, Ltd. All rights reserved